

# 近畿圏内における ワーケーション意識調査

2021年 7月

舞鶴市政策推進部  
シンク・アンド・アクト株式会社  
株式会社J&J事業創造  
(Coworkation Village MAIZURU)

# 調査概要

---

## ■ 調査主旨：

近畿圏内を着地とした滞在型リモートワークおよびワーケーション（Workation）推進のために、都市部在住（大阪府・兵庫県・京都府）のユーザー意識調査を実施するもの。

## ■ 調査方法：

インターネット調査

## ■ 調査時期：

2021年3月

## ■ 設問数：

6問

## ■ 回答数：

436名（20代～50代 男女）

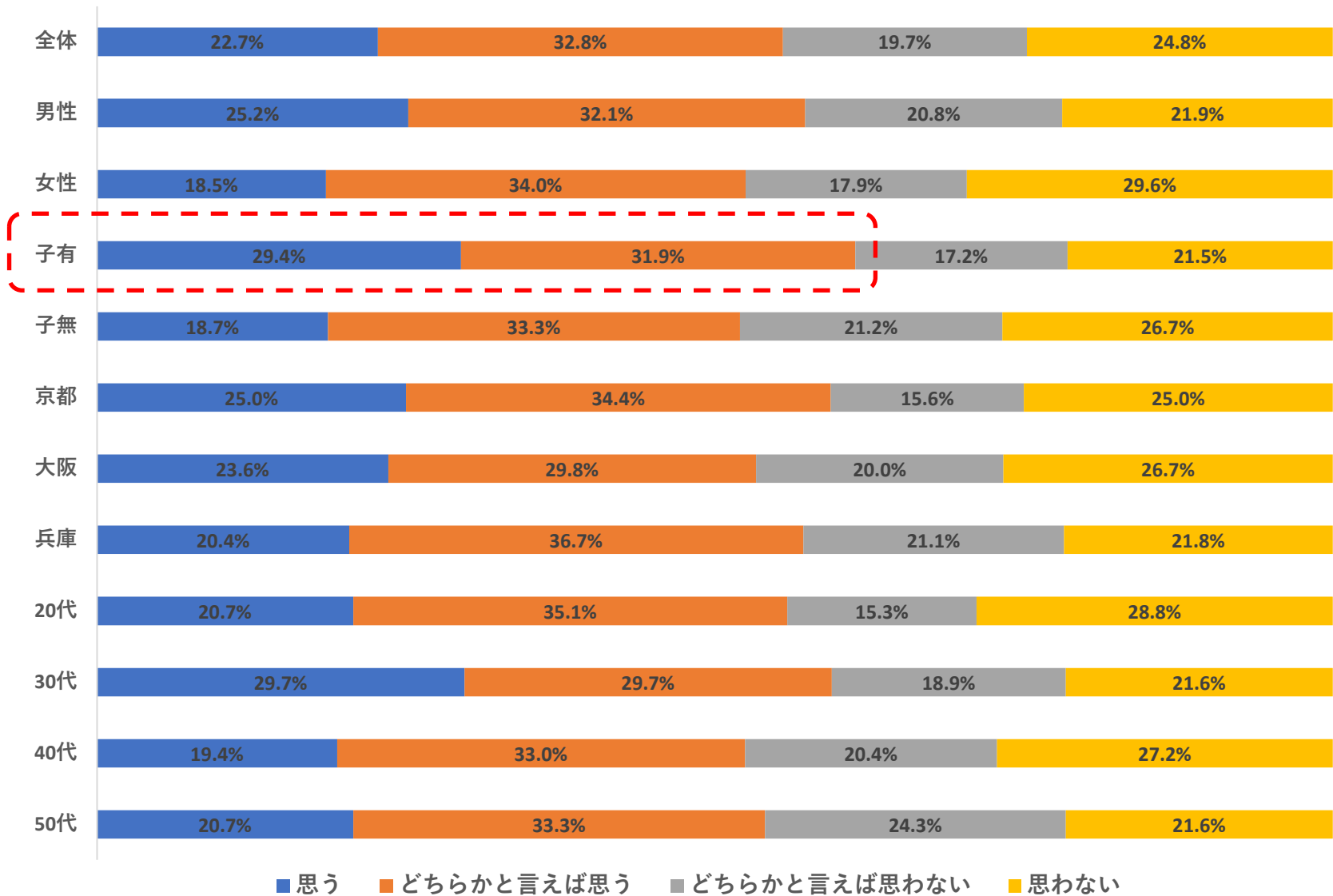
# 調査結果サマリ

- 「ワーケーションをしてみたいと思うか」という問いに対し、55.5%の人が「思う」「どちらかと言えば思う」とポジティブ回答。属性別では子どもの有無で分けた場合に、「子有」世帯が61.3%とポジティブ傾向が見られ、30代～50代の子どもがいる家族世帯がターゲット層と考えられる。【Q1】
- ポジティブ回答者の中では、近畿圏内でワーケーションをする場合の行きたい着地は、1位和歌山県（南紀白浜など）、2位京都府北部（舞鶴市・宮津市など）、3位三重県（伊勢志摩など）の順で選択されており、「近畿圏内ではなし」が10.7%の回答。近畿圏内においてもワーケーションのイメージが想起されることを確認。【Q2】
- 「“Work”の過ごし方」は属性別の傾向の差異は見られず、各年代を通じて個人・複数人でのリモートワークが選択されているが、他のワーケーション利用者や地元地域関係者との交流を望む層も一定数存在。【Q3】
- 年代別でみた場合、「“Vacotion”の過ごし方」「期待効果」について複数選択率が40代・50代が高く、「泊数」も長期を選択する傾向。よりワーケーションに対する期待値が高いと推察。【Q4】 【Q5】 【Q6】



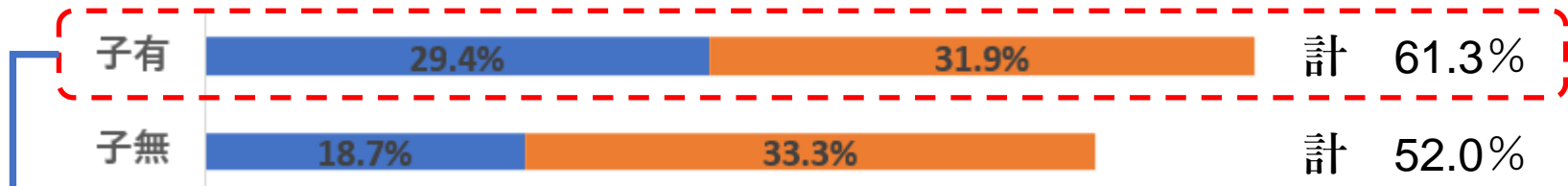
# 調査結果

# Q1 「あなたはワーケーションをしてみたいと思いますか？」



# Q1 「あなたはワーケーションをしてみたいと思いますか？」

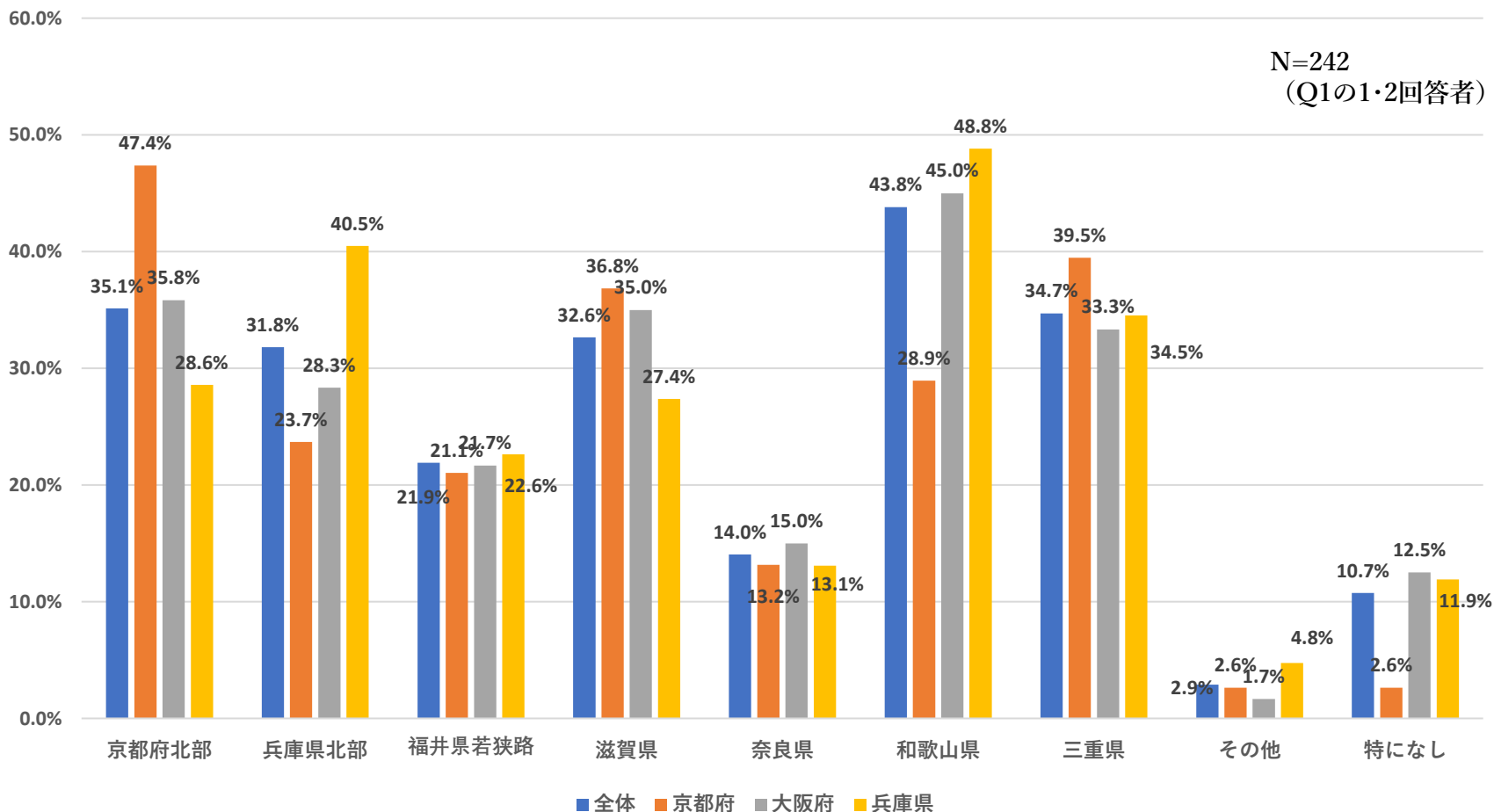
Q1 (P4) の「思う」「どちらからかと言えば思う」回答者 (N=242) の子有グループの年齢分布



	子有
20代	10%
30代	30%
40代	22%
50代	38%
合計	100%

# Q2

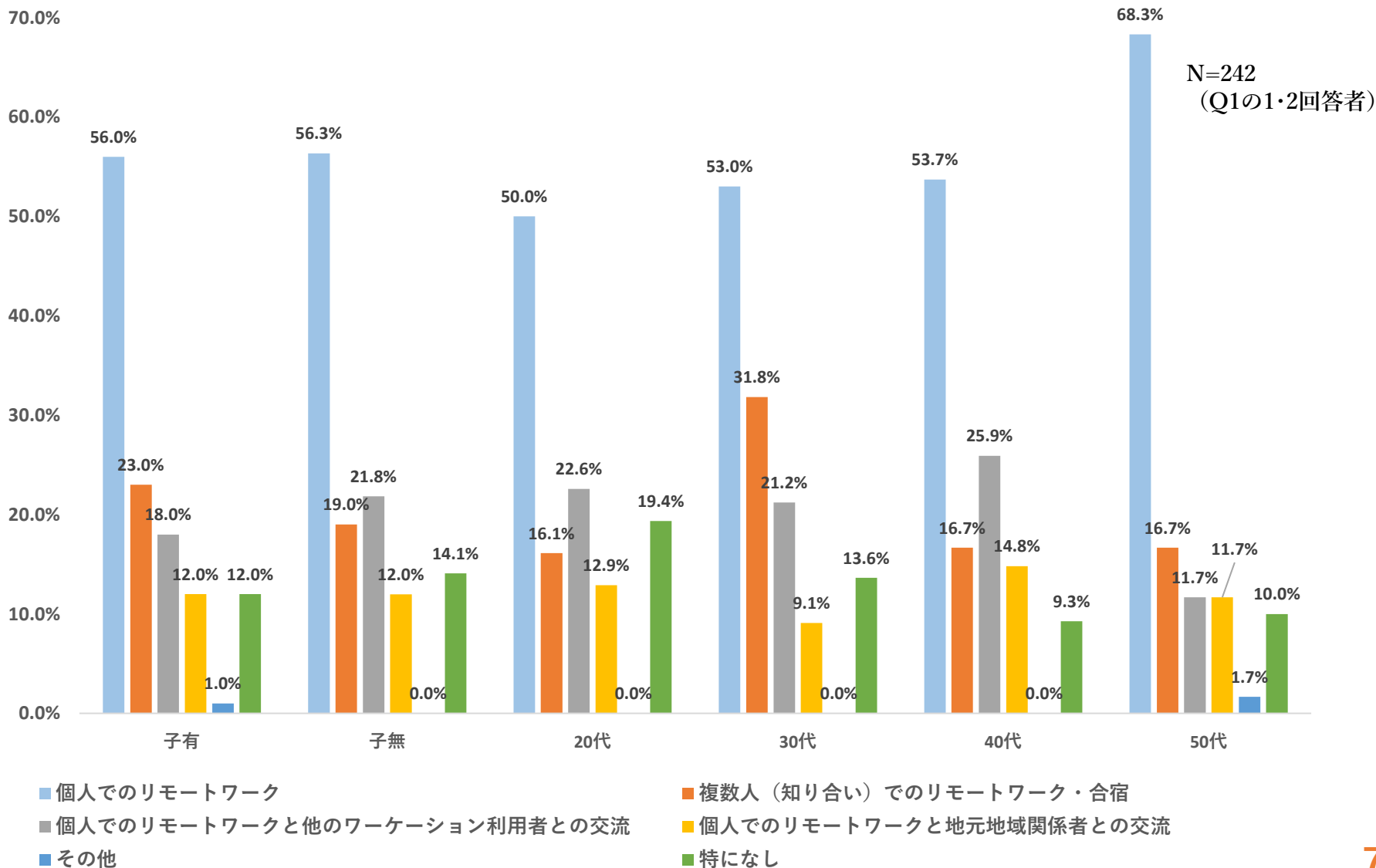
「近畿圏内でワーケーションをするとした場合に、次の中で行きたい地域はどちらですか？」（複数選択可）



京都府北部（舞鶴市・宮津市など）・兵庫県北部（豊岡市・養父市など）・福井県若狭路（敦賀市・高浜町など）・滋賀県（琵琶湖畔など）・奈良県（奥大和地域など）・和歌山県（南紀白浜など）・三重県（伊勢志摩など）・その他・近畿圏内でワーケーションしてみたいところはない※ から複数選択。 ※「特になし」選択時は他の回答は選択不可

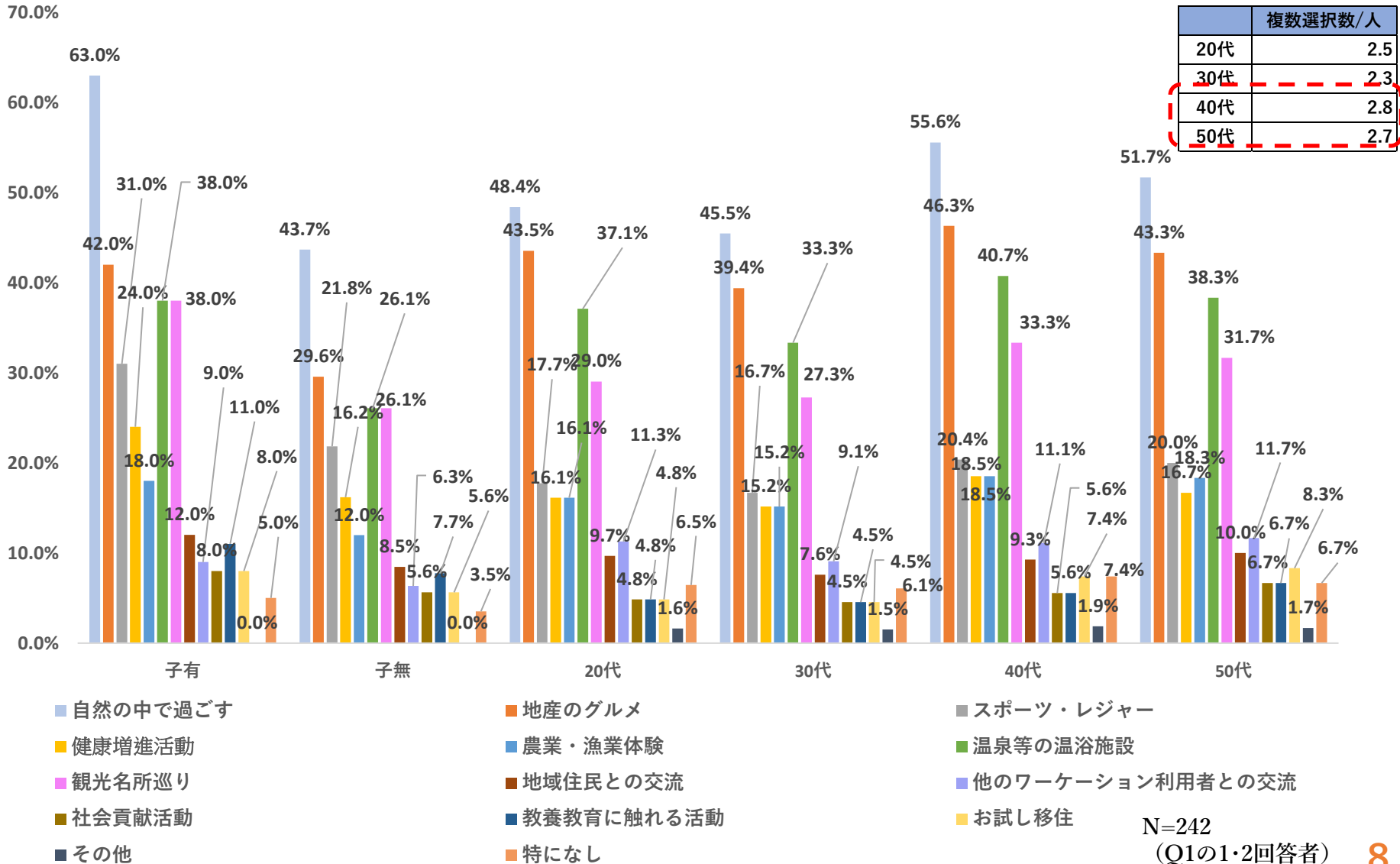
# Q3

「ワーケーションをする場合の“Work”の過ごし方として、以下のうちどれが自身の志向と合致しますか？」（複数選択可）

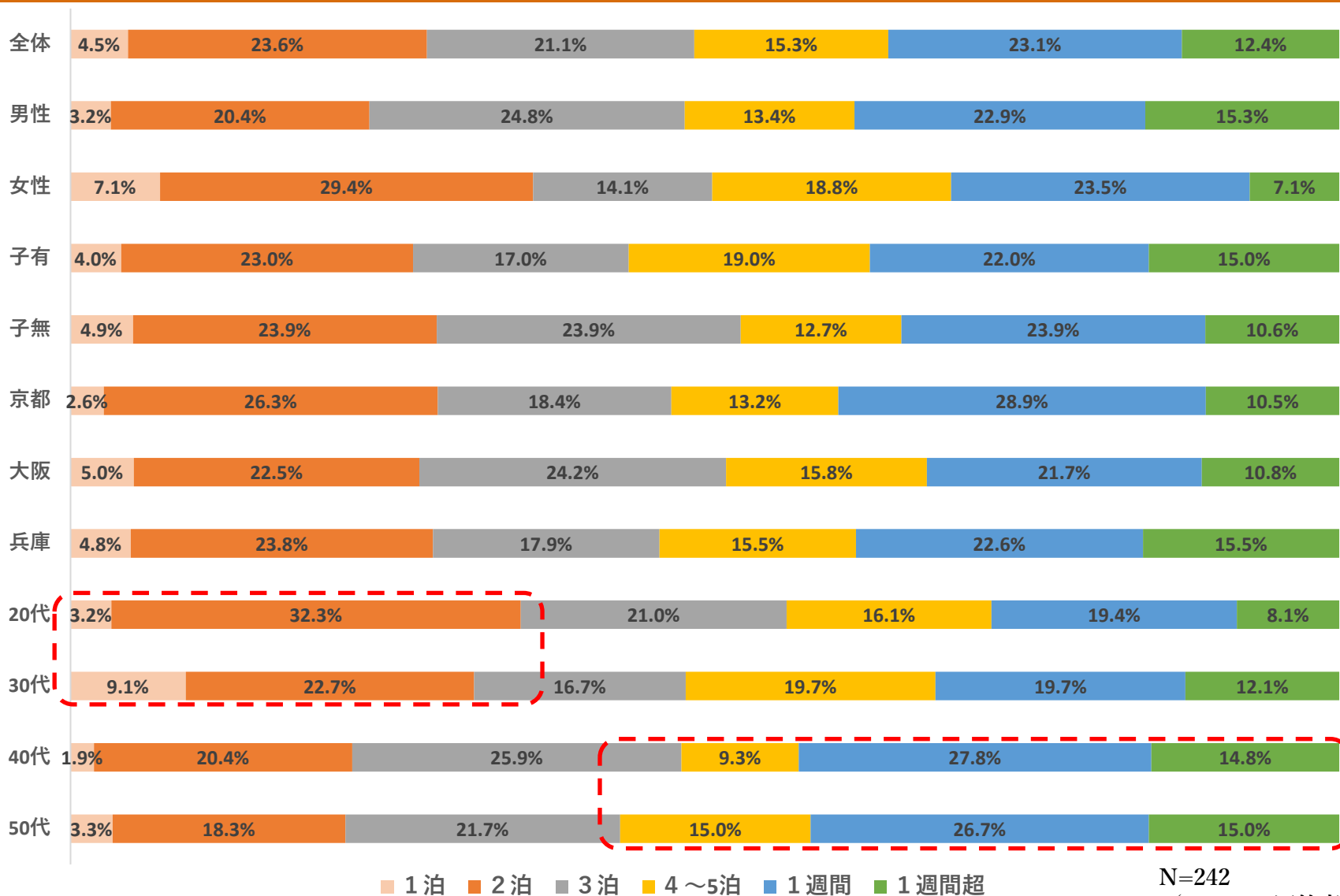




# Q4 「ワーケーションをする場合の”Vacation“の過ごし方として、以下のうちどれを重視しますか？」（複数選択可）



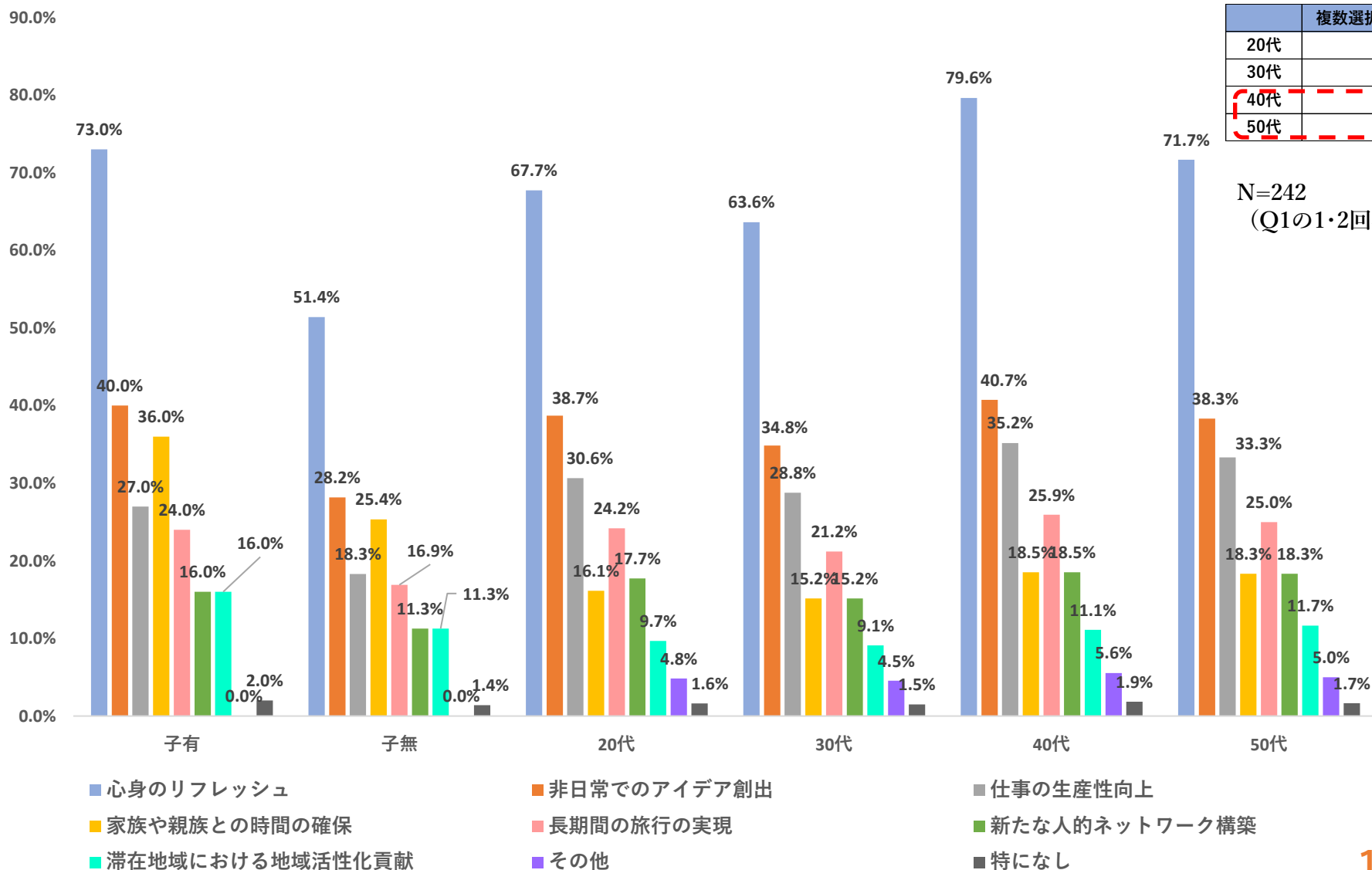
# Q5 「ワーケーションをするとした場合の泊数はどの程度がよいと考えますか？」



N=242

(Q1の1・2回答者)

# Q6 「ワーケーションをすることした場合に期待する効果はなんですか？」（複数選択可）



# Coworkation Village MAIZURU

<https://www.coworkation-village-maizuru.com/>

